



土砂災害の種類と前兆現象を学び、避難に役立てましょう！

土砂災害は、大雨や融雪、地震、火山の噴火などによって発生します。特に、梅雨や台風などの雨が降る時期は注意が必要です。土砂災害から避難するためには、事前に危険箇所や避難場所を確認しておくこと、気象情報を確認しておくことが大事です。

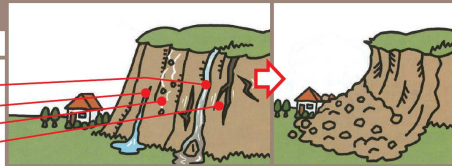
☞ こんな兆候が現れたら、早めに避難しましょう！

かけ崩れ

急なかけが突然崩れ出し、家屋や道路を押しつぶします。

兆候

かけから流れてくる水が濁る。
かけから水がわき出している。
かけの上から小石がパラパラ落ちてくる。
かけに割れ目や裂け目ができている。

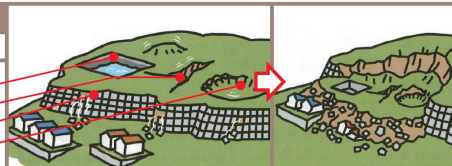


地すべり

広範囲にわたって斜面がそのまま滑り出し、家屋や道路を押しつぶします。

兆候

ため池、水田、用水路、井戸水の急激な減水。
傾斜に段差や亀裂が生じている。
石積みの斜面の局部的な崩落。
局部的な沈下、隆起、亀裂の発生。

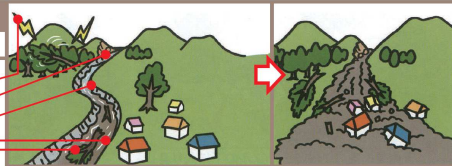


土石流・鉄砲水

大量の土砂が水とともに沢から流れ出し、家屋や道路を押し流します。

兆候

木立の裂ける音、巨大な石の流れが聞こえる。
渓流付近で落石や斜面の崩壊(の兆候)が発生。
雨続きなのに、川の水位が急激に減少する。
川の流水が急に濁り出し、流木等が混ざり出す。



※上記土砂災害情報は、財団法人日本防火・危機管理促進協会が発行する「危機管理ハンドブック④災害時の自助編 あなたの身を守る避難の知識」から引用したものです。

避難情報の違いを知っておきましょう

あきる野市では防災行政無線・安心メール・広報車等を通じて避難情報を連絡します。

情報の種類	発令時の状況	住民に求める行動
自主避難	●災害の危険が迫っていると自ら判断した場合の避難となります。	●必要に応じて、地域の避難所などに避難してください。 ●避難中の食料や生活必需品は、自分で用意してください。
避難準備情報	●避難するのに時間がかかる要援護者は、避難を始めなければならない状況です。 ●人的被害が発生する可能性が高まっている状況です。	●高齢者、病人、障がいのある方は、支援者とともに避難所へ早めの避難を始めてください。 ●非常時に持ち出すものを用意しておくなど、いつでも避難できるよう準備してください。
避難勧告	●通常の避難ができる方についても、避難を始めなければならない状況です。 ●人的被害が発生する可能性がさらに高まっている状況です。	●避難所への避難をすみやかに始めてください。
避難指示	●災害の前兆現象の発現や切迫した状況から、人的被害が発生する可能性が非常に高まっている状況、または実際に人的被害が発生した状況です。	●避難中の方は確実に避難を完了し、避難行動をとっていない方は、ただちに避難所への避難を始めてください。 ●避難に際し、時間的に余裕がない場合は、生命を守る最低限の行動をしてください。



そなえ防災

あきる野市防災・安心地域委員会

平成26年3月10日
(第3号)
発行責任者
防災・安心地域委員会
本部長 倉田克治

防災便り

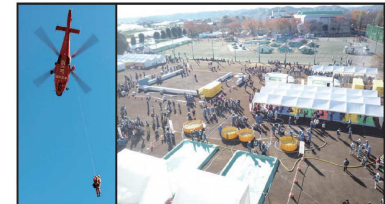
平成25年11月23日(土)に実施された「東京都・あきる野市合同総合防災訓練」のメイン会場では、体験型の住民共助訓練や土砂災害を想定した救出・救助訓練、医療機関との連携による災害医療訓練等、様々な訓練が実施され、防災・安心地域委員会としても、各種訓練を支援する形で参加しました。また、当日は市内全地区で「安否確認旗」を活用した見守り訓練が実施され、市西部の小宮地区では、孤立集落を想定したヘリコプターによる物資輸送訓練と救出救助訓練も実施されました。

本号では、災害時に大変重要な役割を果たす「安否確認旗」の使い方、使用の目安となる「緊急地震速報」について2～3ページで紹介しています。「安否確認旗」と「緊急地震速報」の役割を理解して、災害に備えましょう。

加えて、「土砂災害」の種類と前兆現象、避難情報の違いについて4ページで紹介しています。土砂災害について理解して、ご自身の身の回りのチェックをしてみましょう。

また、防災・安心地域委員会の活動として平成25年12月8日(日)第3回防災コンクールを開催しました。各地区にて選抜された総勢19組が参加し、防災力を競い合い、参加者の真剣な取り組みにより防災意識の高まりが伝わる大会となりました。(競技結果は優勝が増戸地区、準優勝が戸倉地区)

防災コンクールは災害が発生したときの自助(自分自身で対処する事)、共助(地域住民同士の助け合い)という防災力の習得に適した訓練です。災害時にはこの自助、共助が大変重要となるので、これらの防災力の習得に役立つ防災コンクールを皆さんの地区の防災訓練に取り入れてみてはいかがでしょうか？



近助の精神



山村 武彦氏

プロフィール

防災・危機管理アドバイザー。防災システム研究所 所長。現場主義を掲げ災害、事故、事件等 200 か所以上の現地調査を行う。消防防災訓練活性化研究会委員等を歴任し、現在、執筆、講演活動、マスコミ出演等を通じ防災・危機管理意識啓発に活躍中。

ひとりは一人で生きていけません。それぞれの存在によって社会が成り立っています。だからこそ「自分でできることは自分で対応」が基本です。

しかし、身体が不自由であれば自分でできることに限りがあります。誰でも病気になることがあります。誰でもいつかは年を取ります。でも、病人、高齢者、障がい者になりたくてなった人は一人もいません。可能な限り自分のことは自分でした上で、それでも対応できないときは隣人や行政に助けを求めていいのです。

ひとりでは悩まないで、困った時は近くの人に相談してください。隣人同士どこかで迷惑をかけ合い、支え合いながら生きているのです。それがお互い様です。いざという時に助け合えるように、向こう三軒両隣で「防災隣組」をつくと共に、普段からほどよい距離感で隣人に関心を持ち、困っているな、変だなと思ったら、いつでも近くにいる人が声を掛け、助け合う、傍観者にならない心、それが「近助の精神」です。

【山村武彦氏「近助の精神と防災隣組」から転載】

本号の保存資料について

- 安否確認旗と緊急地震速報……………P.2-3
- 土砂災害情報と避難情報について……………P.4

保存版

安否確認旗について

安否確認旗とは

安否確認旗とは災害時に自宅の門扉や玄関に掲出して、自分や自宅の家族が無事であることを周囲の人に知らせることで、人命救助につながる重要な目印です。

旗が人命救助につながる!?

安否確認旗の使い方

①災害の発生

緊急地震速報が放送された場合に、安否確認旗を使ってください。緊急地震速報は市内各地のスピーカーから放送されます(緊急地震速報については下部を参照してください)。

また、エリアメール(緊急速報メール)に対応している携帯電話には通信会社(ドコモ等)から緊急地震速報が送信されます。



緊急地震速報時に使用

②安否確認旗の掲示

その時自宅にいる自分や家族が無事な場合には、安否確認旗を門扉や玄関等の外から見える場所に掲げてください。

外から見える場所に掲出



③安否確認旗の確認

自主防災組織が地域の見回りをを行い、支援が必要な住居を確認し支援を行います。

ご家族の安全が確認できた方は、ご自分でも隣近所の安否確認旗を確認し、支援が必要な方がいたら互いに協力をお願いします。

みんなで協力



頼りになるのは『共助』

災害時には共助(地域住民同士の助け合い)が重要となります。災害時に自助(自分自身で対処する事)では対処できない状態になっても、消防署のレスキュー隊や救急隊がすぐに駆けつけるとは限りません。その時に頼りになるのが、「ご近所さん」による『共助』です。

災害時には地域住民で組織された自主防災組織が地域の見回りや救出救助活動を行う等の仕組みがあります。ただし、救出救助活動は一刻を争う状況が予想され、迅速な支援活動が求められるため、住民同士の協力が不可欠です。

すぐにできる『共助』活動!!

災害時に一人ひとりが協力できる活動として安否確認旗の掲出があります。災害時に、自宅の門扉や玄関に安否確認旗を掲げ、自分や自宅の家族が無事であることを知らせることで、助けが必要な人への迅速な支援が行えるようになり、人命救助につながります。

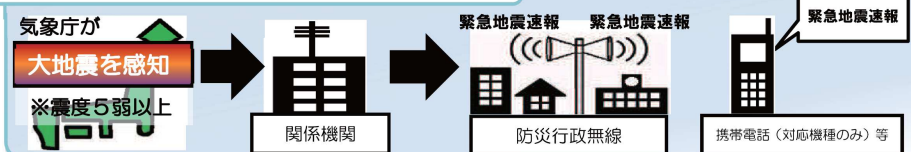
安否確認旗の掲出は『共助活動』のひとつであり、地域の皆さんが実践することで災害に強いまちづくりにつながっていきます。

旗は大切に保管してください!!

人命救助につながる安否確認旗を、是非、玄関等のいつも見える場所に置いておき、いざというときに使えるようにしておきましょう。

配布された安否確認旗を使って積極的に防災訓練を行っていただき、旗は実際に災害が起きたときに利用しますので、玄関等のいつも見える場所に大切に保管しておいてください。

緊急地震速報について



緊急地震速報

地震観測点のデータから気象庁が震度5弱以上の地震発生が予想したとき発表され、それを元に関係機関が、防災行政無線(市内各地のスピーカー)、携帯電話、テレビ等で瞬時に連絡するものです。

あきる野市では「全国瞬時警報システム(J-Alert)」を使い、消防庁からの連絡により防災行政無線(市内各地のスピーカー)を通して緊急地震速報を自動で発信します。放送時のチャイム音は、NHKのホームページで聞くことができます。(<http://www.nhk.or.jp/sonae/bousai/>)

また、エリアメール(緊急速報メール)に対応している携帯電話には通信会社(ドコモ等)から緊急地震速報が送信されます。

